

『おやま一步の会』『れんげカフェ』が 内閣府「社会参加章」を受章しました

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等の事例を募集し、受章者及び受章団体について広く紹介しています。

この度、市内小山地区で活動する「おやま一步の会」と、新磯地区で活動する「れんげカフェ」が、長寿社会における高齢者の社会参加活動の模範となる団体として「社会参加章」を受章しました。

つきましては、次のとおり、受章団体へ書状及び記念品の授与を行いますのでお知らせします。

1 おやま一步の会

(1) 日時

令和7年10月7日（火）午前9時30分～午前9時45分

(2) 場所

小山公民館 2階 小会議室（中央区向陽町8-1）

2 れんげカフェ

(1) 日時

令和7年10月17日（金）午前10時～午前10時15分

(2) 場所

新磯公民館 1階 小会議室（南区磯部916-3）

3 その他

(1) 書状等の贈呈は、市健康福祉局長が行います。

(2) それぞれ、取材を希望される場合は、開始10分前までに会場へお越しください。

『おやま一步の会』（代表者：穴戸 佳子 様）

地域包括支援センター主催の講座を受講した有志により結成されたグループで、高齢者宅へ訪問し、ごみ出し・買い物・草むしり等の生活支援を行っている。地域団体と積極的に連携し、地域包括支援センター等から依頼を受け、年間 200～300 件の支援活動を 7 年間行っている。会員ができることを続けるという考えの下、無理なく対応していること、継続的に支援を実施することにより、依頼者が元気になっていく変化を見ていくことが、会員のモチベーションにつながっている。また、会員自身が楽しめる研修会や交流会を企画実施しており、住民同士が助け合い支え合う地域づくりに貢献している。

『れんげカフェ』（代表者：阿部 クニ子 様）

認知症のある人やその家族だけでなく、地域の方々など誰もが参加できるオープンな社会的居場所として「認知症カフェ」の活動に取り組んでいる。主な参加者は全員が 65 歳以上であり、認知症サポーターや地域のボランティアとして役割を果たし、活躍できる場となっている。開催日に「認知症カフェ」とは何かという共通認識を図るなど、誰もが当事者になるかもしれない「我がごと」として、認知症を正しく理解することを意識しながら活動しているほか、地域の共生カフェとしての運営を意識した取組も行っており、地域福祉の推進に寄与している。

また、かながわオレンジ大使を招き、認知症への理解を深めるためのイベントを開催する新たな取組や、公民館まつりで活動紹介を行うなど、関係機関との協働等により地域で積極的な活動をしている。

問合せ先

高齢・障害者福祉課

042-769-8354（直通）